

保健教育の充実～健康情報を活用して「確かな学力」を育む「保健」の授業～

学校における保健教育では、「健康の価値を認識し、自ら課題を見付け、健康に関する知識を理解し、主体的に考え、判断し、行動し、よりよく課題を解決する」資質や能力の育成が重視されており、子どもの「健やかな体」の向上それ自体に貢献するばかりでなく、子ども自身が、自らの課題について考え、行動することができる「確かな学力」の育成を目指しており、科目「保健」の指導に際しては、知識を活用する学習活動を積極的に行うことにより、思考力・判断力等を育成することが重要であり、具体的には、ディスカッション、ブレインストーミング、ロールプレイング（役割演技法）、心肺蘇生法などの実習や実験、課題学習等を取り入れたり、地域や学校の実情に応じて関係機関の職員等の参加・協力を得るなど、指導方法の工夫を行う必要があります。

また、高等学校学習指導要領解説保健体育編では、「保健」で取り扱う内容のうち、「我が国の保健・医療制度」に係る学習において、「献血の制度があることについて適宜触れるようにすること」、また、「様々な保健活動や対策」に係る学習において、「日本赤十字社などの民間の機関の諸活動や、その活動等を充実させるためには、一人一人が生涯の各段階でそれらを理解し支えることが重要であり、そのことが人々の健康につながることに触れるようにすること」が示されており、各高校には、献血制度などに関わる指導の充実が求められています。

こうした点を踏まえ、ここでは、「保健・医療制度及び地域の保健・医療機関」の単元の中で、生徒が医療制度の抱えている課題について理解を深めることができるよう、厚生労働省が、血液一般及び献血に関する正しい知識の普及に資するため、全ての高校生に配布している「けんけつ HOP STEP JUMP」を活用した課題解決学習を取り入れた指導例を紹介します。

1 単元名 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関

2 単元の目標

- ・我が国の保健・医療制度や地域の保健・医療機関について、関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとすることができるようにする。
(関心・意欲・態度)
- ・我が国の保健・医療制度や地域の保健・医療機関について、資料等で調べたことをもとに、課題を見付けたり、解決の方法を整理したりするなどして、それらを説明できるようにする。
(思考・判断)
- ・生涯を通じて健康の保持増進をするには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であること、医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること、疾病からの回復や悪化防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることについて、理解したことを発言したり、記述したりすることができるようにする。
(知識・理解)

3 単元について

本単元では、生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することが重要であることについて理解できるよう、知識を活用する学習活動を取り入れるなど、指導方法を工夫している。

4 単元の評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
単元の評価規準	①我が国の保健・医療制度について、関連する資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ②地域の保健・医療機関の活用について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換をするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	①地域の保健・医療機関の活用について、学習したことを、個人及び社会生活と比較したり、分析したり、計画を立てたりするなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明している。 ②我が国の保健・医療制度について、資料等で調べたことを基に、課題を見付けたり、解決の方法を整理したりするなどして、それらを説明している。	①生涯を通じて健康の保持増進をするには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であること、医薬品は有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること、疾病からの回復や悪化の防止には医薬品を正しく使用することが有効であることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。

5 単元計画（指導と評価の計画）

時	ねらい・学習活動	評価の観点			学習活動に即した 評価規準	評価方法	
		関	思	知			
1	(ねらい) 生涯を通じて健康の保持増進をするには、保健制度や地域の保健所、保健センターなどを適切に活用することが重要であることを理解できるようにする。						
	①健康診断を例に、保健行政とのつながりを考える。						
	②保健行政の組織について、4分野で展開されていることの説明を聞いた後、保健行政のしくみや保健サービスについて調べてまとめる。 ③自らの健康づくりのために、保健サービスを積極的に活用することが大切であることを知る。			①	・保健行政のしくみや保健サービスの内容の具体例を書き出している。 ・自らの健康の保持増進のためには、どんな保健サービスを活用したらよいか、積極的に探そうとしている。	ワークシート 観察	
2 本 時	(ねらい) 医療制度の一つである献血を題材として、各種データから健康課題を発見し、課題解決の方策を考える学習活動を通して、医療制度や医療保険のしくみについて正しく理解できるようにする。						
	①医療制度及び医療保険についての説明を聞き、我が国には、人々の健康を守るための医療制度や医療保険が存在することを理解する。						
	②献血の制度に関わるデータ等から健康課題を発見し、課題解決の方策を考える。 ③自己の健康課題に応じた適切な医療機関の選択と医療サービスを活用することが大切であること、及び介護保険のしくみや、献血のほかにも臓器移植などの医療制度があることについて知る。		①		・献血の制度に関わる各種データを分析・活用して、グループ内で自らが学習したことについてお互いに筋道を立てて説明している。 ・医療制度や医療保険のしくみについて、具体例をあげながら書き出している。	観察 ワークシート	
3	(ねらい) 医薬品の種類及び販売の制限があることを理解するとともに、疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることについて理解できるようにする						
	①医薬品の購入経験を確認する。 ②手に取れる場所にある医薬品と手の届かないところにある医薬品があるのはなぜかを考える。			②		・医薬品の種類によって薬局での取扱いが違うことについての意見交換に、自ら進んで意欲的に取り組んでいる。	観察
	③医薬品には、一般用医薬品と医療用医薬品があること及び販売の制限があること、医薬品は、承認制度により有効性や安全性が審査されていることについて理解する。 ④実際の一般用医薬品の添付文書や説明書から正しく使用するために必要な情報を考える。 ⑤授業のまとめを行い、医薬品を使用するときに必要なことを知る。		②		・医薬品を正しく使用するために必要な情報について、根拠を示しながら説明している。	観察	

6 展開例（2/3）

(1) 医療制度・医療保険と健康

(2) 本時の目標

- 我が国には、人々の健康を守るための医療制度や医療保険が存在し、行政及びその他の機関などから様々な医療サービスが提供されていることを理解し、理解したことを発言したり記述することができるようにする。

（知識・理解）

- 医療制度に関わる内容として、与えられた資料から健康課題を発見し、グループ内で意見交換しながら協働的にグループとして課題解決の方策をまとめ、筋道を立ててそれらを説明できるようにする。




（思考・判断）

(3) 展開

ねらい

学習内容

発問・指示など

時間	主な学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
導入 5分	<p>1 病院での支払いを想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人で病院に行ったことがありますか？ 病院で提示を求められたものはありませんでしたか？ どうして提示を求められるのでしょうか？ <p>2 本時のねらいを確認する。</p> <p>○医療制度の一つである献血を題材として、各種データから健康課題を発見し、課題解決の方策を考える学習活動を通して、医療制度や医療保険のしくみについて正しく理解できるようにする。</p>	<p>○生徒に質問を投げかけ、病院での支払いの経験の有無について、挙手で確認する。</p> <p>○保険証等を持っていくのはなぜか考えさせる。</p>  <p>○ワークシートを配付し、本時のねらいを確認する。</p>
展開 40分	<p>3 医療制度及び医療保険について説明を聞き、そのしくみについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の医療制度及び医療保険の概要について説明します。 <p>・我が国には、人々の健康を守るための医療制度や医療保険が存在し、行政及びその他の機関などから様々な医療サービスが提供されている。</p> <p>ワークシート【1】</p> <p>4 献血の制度に関わる資料から健康課題を発見し、課題解決の方策について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> これらの資料を見て、どんな課題があるか考えてみましょう。 気付いた課題について、その解決の方策についてグループで考えてみましょう。 グループ内で役割分担をして、それぞれが調べたり考えたりしたことを意見交換し、最後にグループとして集約してください。 グループごとにまとめた内容について、代表者が発表する。  <p>・医療制度の一つである献血の制度の現状を正しく理解する。</p> <p>・提示された資料から、医療制度の抱える課題等について考える。</p> <p>ワークシート【2】【3】</p>	<p>○我が国の医療制度及び医療保険のしくみについて、板書しながらまとめる。</p> <p>○教科書の図版や資料にも触れ、生徒の理解が深まるよう配慮する。</p> <p>○説明後、次は医療制度のうち、献血を題材として健康課題を発見・解決する学習活動を行うことを伝える。</p> <p>※ 次の学習活動を示すことにより、生徒が見通しを持って学習活動に取り組めるよう配慮されています。</p> <p>○各グループに、献血の制度に関わる資料を配付する。</p>  <p>厚生労働省が、全ての高校生に配布している資料 「けんけつ HOP STEP JUMP」</p> <p>※提示した資料の具体はP.4に掲載</p> <p>○グループ内で役割分担をさせる際に、<u>個人としてできることと社会としてできること</u>の2つの視点から考えるよう促す。</p> <p>※ 中学校においては、個人生活における健康・安全に関する内容について学習しますが、高等学校においては、個人生活に加え、社会生活における健康・安全に関する事柄についても科学的に思考・判断し、総合的にとらえていくことが求められていることを踏まえた内容となっています。</p> <p>○それぞれの生徒が役割分担された内容について主体的に考え、その後、それぞれのグループの中で意見交換しながら協働的に課題解決の方策を考えていくよう助言する。</p> <p>◆献血の制度に関わる各種データを分析・活用して、グループ内で自らが学習したことについてお互いに筋道を立てて説明している。</p> <p>(思考・判断) 【観察】</p> <p><努力を要する状況と判断される生徒への指導の手立て> ・うまく説明できていない生徒に対しては、どのデータのどの部分に着目し、どんな課題に気付いたのかを質問しながら整理させる。</p>

アクティブ・ラーニングの視点による主体的・協働的な学習活動を展開します。

5 ワークシートに医療制度や医療保険のしくみや課題についてまとめて記入する。

・医療制度及び医療保険のしくみや課題について、整理してワークシートに記入してください。

・各自まとめた内容について発表する。(数人を指名する。)

ワークシート【4】

○生徒の発表についてコメントしながら、我が国の医療制度や医療保険のしくみや課題について整理する。

◆医療制度及び医療保険のしくみについて、具体例をあげながら書き出している。

(知識・理解)

【ワークシート】

<努力を要する状況と判断される生徒への指導の手立て>

・具体例をあげられない生徒に対しては、机間指導の中で、板書した内容を示して再度解説する。

まとめ
5分

6 授業のまとめを行い、医療制度や医療保険のしくみ、医療制度を支えていくことの必要性について確認する。感想をワークシートに記入する。

・自らの健康を保持・増進するためには、医療制度や医療機関を適切に活用することが大切である。

○本時の学習内容を振り返りながらワークシートに感想を記入するよう促す。(知識の定着)

○献血の制度のほか、介護保険や臓器移植などの制度があることについても適宜触れるようにする。

○自らの健康を保持・増進するためには、医療制度や医療機関を適切に活用することが大切であることについて解説する。

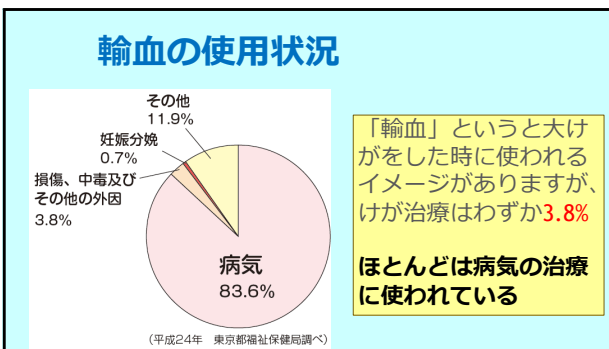
7 次時の学習内容を知り、見通しをもつ。

○次時の学習内容(医薬品と健康)を伝える。

※ 本時では、我が国の医療制度や医療保険のしくみについて取り上げ、医療制度に関わる内容として、献血についての情報に基づき、主体的・協働的に健康課題を発見・解決する学習活動を通して、思考力・判断力・表現力を育成することをねらいの一つとしています。具体的には、輸血の使用状況や献血者数の推移などのデータ等を読み取る活動を通して、個人及び社会生活の視点から、医療制度を支えていく必要性について考えていく学習活動が組まれています。

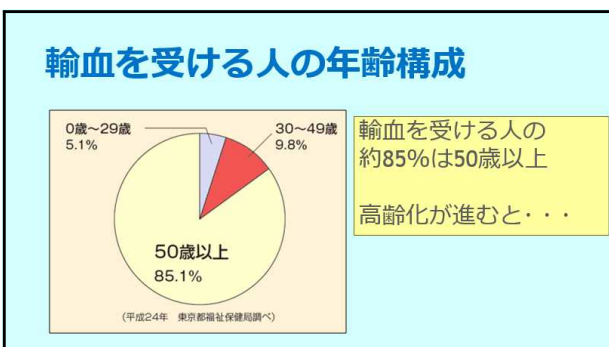
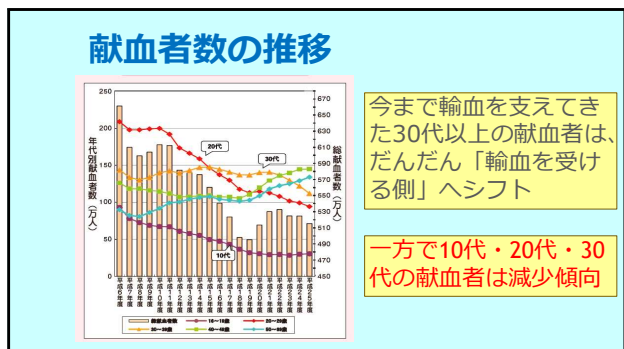
(4) 資料等

【献血の制度に関わる資料】



「輸血」というと大げがをした時に使われるイメージがありますが、げが治療はわずか**3.8%**

ほとんどは**病気の治療**に使われている



輸血を受ける人の約**85%**は50歳以上

高齢化が進むと・・・

輸血を受けた方々の声

- ・今、こうして私が元気に生きていられるのは輸血があったからこそだと思っています。
- ・まさか自分が輸血を受けなければならない病気にかかるとは夢にも思っていませんでした。いつも心の中で感謝しています。
- ・発病以来15年経ちますが、輸血を受けたことで現在に至るまで命をつないでおります。

【ワークシート】

保健 ワークシート
医療制度・医療保険と健康

月 日 ()

2年 組 番 名前

○今日の目標

- ・我が国には、人々の健康を守るための医療制度や医療保険が存在し、行政及びその他の機関などから様々な医療サービスが提供されていることを理解し、発言したり記述することができる。
- ・献血の制度に関わる健康課題を見付けて、グループ内で意見交換しながらグループとしての課題解決の方策をまとめ、筋道を立ててそれらを説明できる。

【1】医療制度や医療保険についての説明を聞きながらメモをとろう。

【2】献血の制度に関わる課題を見付けよう。

【3】献血の制度に関わる資料をもとに、個人や社会でできる対策についてまとめよう

◇個人	◇社会

【4】我が国の医療制度及び医療保険のしくみについてまとめよう。

◇医療制度	◇医療保険

【5】感想等

○振り返り【自己評価】

観 点	A	B	C	D
・我が国には、人々の健康を守るための医療制度や医療保険が存在し、行政及びその他の機関などから様々な医療サービスが提供されていることを理解し、発言したり記述することができる。				
・献血の制度に関わる健康課題を見付けて、グループ内で意見交換しながらグループとしての課題解決の方策をまとめ、筋道を立ててそれらを説明できる。				
A: よくできた (十分) B: おおむねできた (おおむね十分) C: できていない (やや不十分) D: まったくできていない (不十分)				

【その他学校における献血の制度に関わる取組の事例】

全道の学校の中には、次のように、日本赤十字社と連携して「献血セミナー」や「献血体験」を行うことを通して、保健・医療制度について理解を深めている事例もあります。

学校における「献血セミナー」の開催

献血セミナー 日本赤十字社

日本赤十字社が実施している、高校生や、小中学生を対象に、学校へ出向いて献血の意義や血液製剤についての理解を促進する取組

実施に当たって

- ①日本赤十字社に相談
- ②実施内容・時間決定 (通常は30~60分)



生徒の感想

- ・献血の必要性、意味など大切なことを学びました。
- ・血液が足りないということを初めて知りました。今後は献血が必要な人の手助けをしたいと思いました。

学校での献血体験の実施

献血実施までの流れ

- 1 赤十字血液センターに実施希望連絡
- 2 献血場所の確認 (バス駐車場、電源)
- 3 依頼文書の受領 (血液センターより)
- 4 生徒への事前PR、保護者の同意
- 5 献血実施
- 6 実績報告 (血液センターより)

学級内の雰囲気は左右されず、生徒が、自らの意思で適切に意思決定・行動選択できるように配慮する必要があります。

配慮すべき事項

- ・学校でやるからといって必ず献血しなければいけないわけではない。
- ・献血を申し込んだ後でも、少しでも調子が悪ければ見合わせてもOK などの指導を徹底することが大切です。